
2019年度第3四半期決算 及び
2019年度業績見通し

説明資料

帝人株式会社
2020年2月5日

第3四半期のポイント

■実績

- 第3四半期累計の営業利益は前年（481億円）並みの482億円（+1億円）
- アラミド繊維、国内ヘルスケア事業、IT事業が好調維持
- 自動車向け複合成形材料事業におけるCSP社*1の収益性回復は進捗
- ポリカーボネート市況低迷と主力医薬品の欧米後発品による下方影響あり

■通期見通し

- 前回公表の通期連結業績見通し*2から変更なし
（ただし、各セグメントの内訳は第3四半期の事業状況を踏まえ変更）

*1 Continental Structural Plastics Holdings Corporation

*2 前回見通しは2019年11月1日公表

-
-
1. 2019年度第3四半期決算 P. 3
 2. 2019年度業績見通し P.11
 3. 参考資料 P.16

見通しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

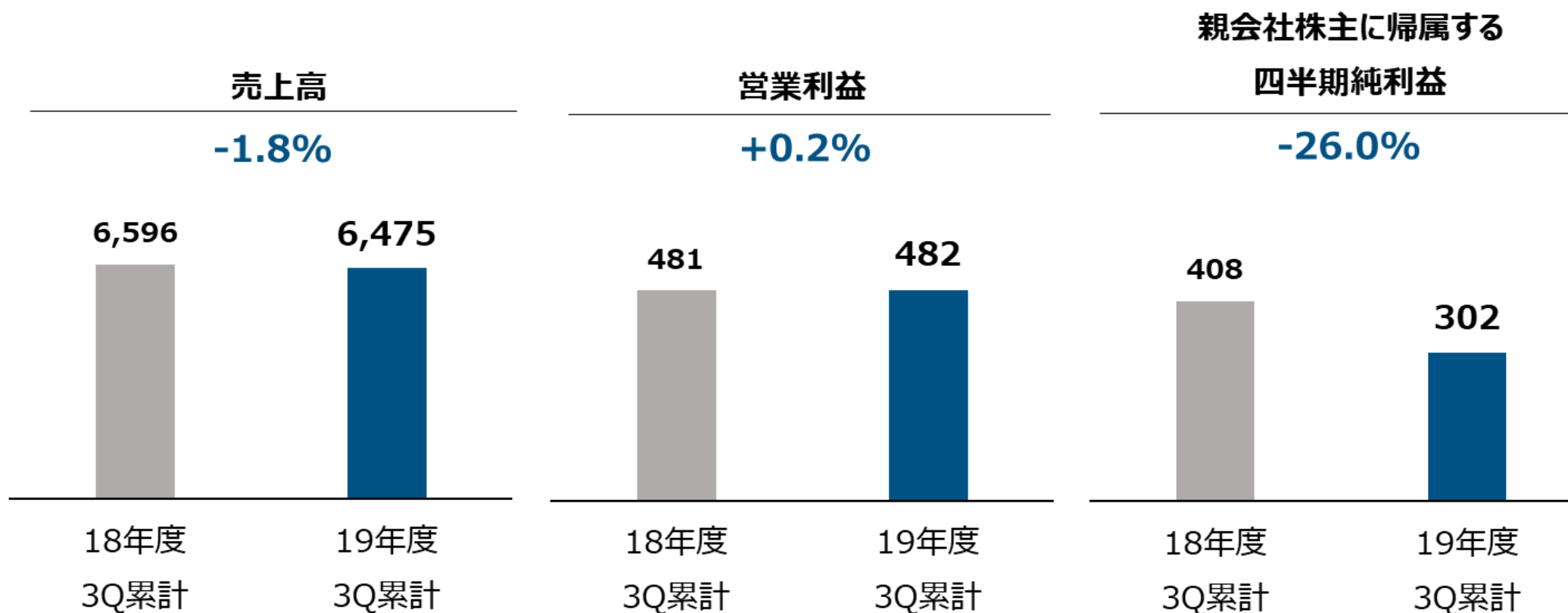
本資料は2020年2月5日午前11時00分に公表した弊社決算に基づくものです。

1. 2019年度第3四半期決算

◆ 実績ハイライト [前年同期対比]

- 好調なアラミド繊維、国内ヘルスケア、IT事業が、ポリカーボネート市況の低迷や主力医薬品の海外後発品の影響をカバーし、営業利益は前期並み
- 為替影響による営業外収益の減少に加え、フィルム事業子会社譲渡に係る一時費用の特別損失への計上等もあり、四半期純利益は減益

(単位：億円)



◆ 実績サマリー [前年同期対比]

	(億円)			
	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	6,596	6,475	-122	-1.8%
営業利益	481	482	+1	+0.2%
営業外損益	32	-8	-40	-
経常利益	513	474	-39	-7.5%
特別損益	30	-35	-64	-
税金等調整前 四半期純利益	543	440	-103	-19.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	408	302	-106	-26.0%

ROE ^{*1}	13.5%	9.7%	-3.8%
営業利益ROIC ^{*2}	9.9%	9.7%	-0.2%
EBITDA ^{*3}	836	862	+26

*1 「親会社株主に帰属する四半期純利益÷自己資本」にて算出

*2 「営業利益÷投下資本」にて算出

(投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)

*1,2は年換算後の数値

	(億円)			
	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	差異	増減率
設備投資 ^{*4}	407	465	+58	+14.3%
減価償却費	355	380	+25	+7.0%
研究開発費	250	246	-4	-1.8%

◇ 為替・原油価格

		18年度 3Q累計	19年度 3Q累計
PL換算レート	円/米ドル	111	109
	円/ユーロ	129	121
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)		71	63

*3 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

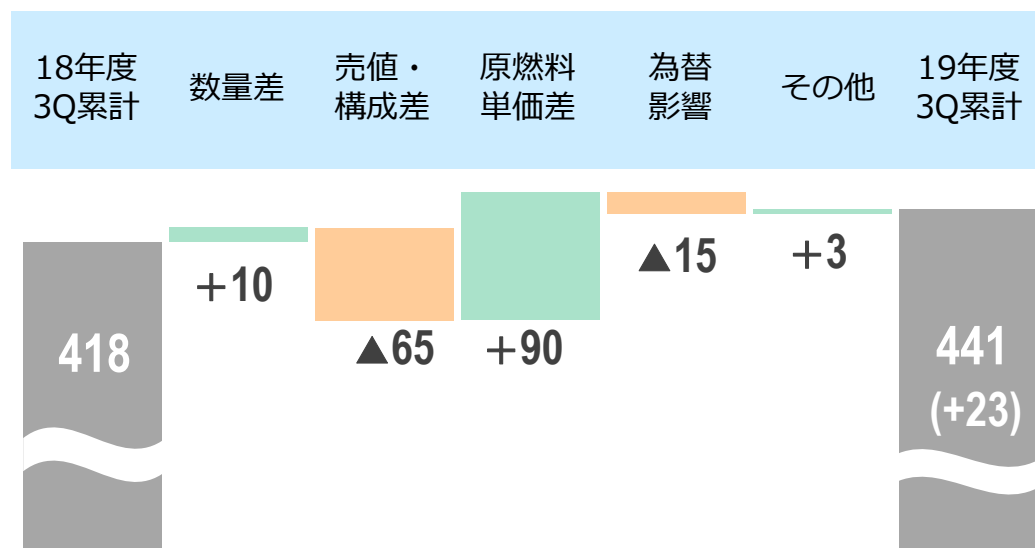
*4 設備投資には無形固定資産を含む

◆ マテリアル事業領域 [前年同期対比]

	(億円)			
	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	4,987	4,815	-171	-3.4%
営業利益	173	172	-0	-0.1%
EBITDA*	418	441	+23	+5.4%
減価償却費	246	269	+23	+9.3%

<EBITDA*増減内訳>

(億円)



* 「営業利益+減価償却費（のれんを含む）」にて算出

■ アラミド繊維

- 自動車関連用途で販売数量やや減少
- 売値・構成差の改善で収益貢献

■ 炭素繊維

- 航空機用途の販売は前期並み
- 先行投資継続

■ 樹脂

- ポリカーボネート市況の低迷により汎用部分の採算が悪化

■ 複合成形材料

- CSP社のピックアップトラックやSUV等の自動車向け量産部品売上が堅調
- 収益性回復が進捗

■ 繊維・製品

- 衣料繊維は天候不順等による市況低迷で低調
- 産業資材ではインフラ補強材などが収益貢献

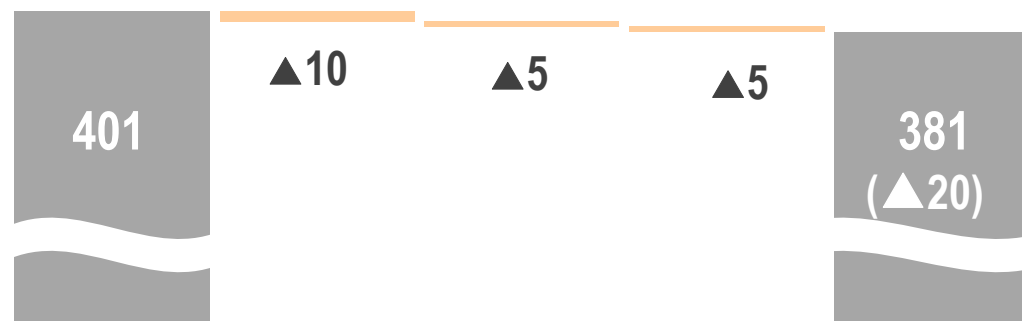
◆ ヘルスケア事業領域 [前年同期対比]

	(億円)			
	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	1,201	1,192	-9	-0.7%
営業利益	313	291	-22	-6.9%
EBITDA*	401	381	-20	-5.1%
減価償却費	88	90	+1	+1.3%

<EBITDA*増減内訳>

(億円)

18年度 3Q累計	数量差	売値・ 構成差	その他	19年度 3Q累計



■ 医薬品

- 「フェブリク」が国内では順調に販売拡大したが、欧米で後発品の影響を受け収益低下

■ 在宅医療

- 睡眠時無呼吸症候群治療におけるCPAPのレンタル台数が順調に伸長

■ 新ヘルスケア

- 埋め込み型医療機器事業が堅調

* 「営業利益+減価償却費（のれんを含む）」にて算出

◆ その他 [前年同期対比]

(億円)

	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	409	467	+58	+14.3%
営業利益	39	56	+17	+45.4%

■ IT

- 電子コミック配信サービス及び企業・病院向けITサービスが好調

◆ 営業外損益 [前年同期対比]

	(億円)		
	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	差異
受取利息	7	7	+0
受取配当金	21	12	-10
持分法による投資利益 為替差益	16	12	-4
	-	7	+7
デリバティブ評価益	28	-	-28
雑収益	11	7	-4
営業外収益 計	83	45	-38
支払利息	26	28	+2
為替差損	7	-	-7
デリバティブ評価損	-	3	+3
雑損失	17	21	+4
営業外費用 計	51	52	+2
営業外損益 計	32	-8	-40

◆ 特別損益 [前年同期対比]

	(億円)		
	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	差異
固定資産売却益	3	0	-3
投資有価証券売却益	36	52	+16
受取和解金	45	-	-45
その他	2	5	+3
特別利益 計	86	58	-28
固定資産除売却損	12	16	+4
投資有価証券評価損	3	-	-3
減損損失	40	23	-16
事業構造改善費用	0	42	+42
その他	2	11	+9
特別損失 計	56	93	+36
特別損益 計	30	-35	-64

◆ 財政状態 [前年度末対比]

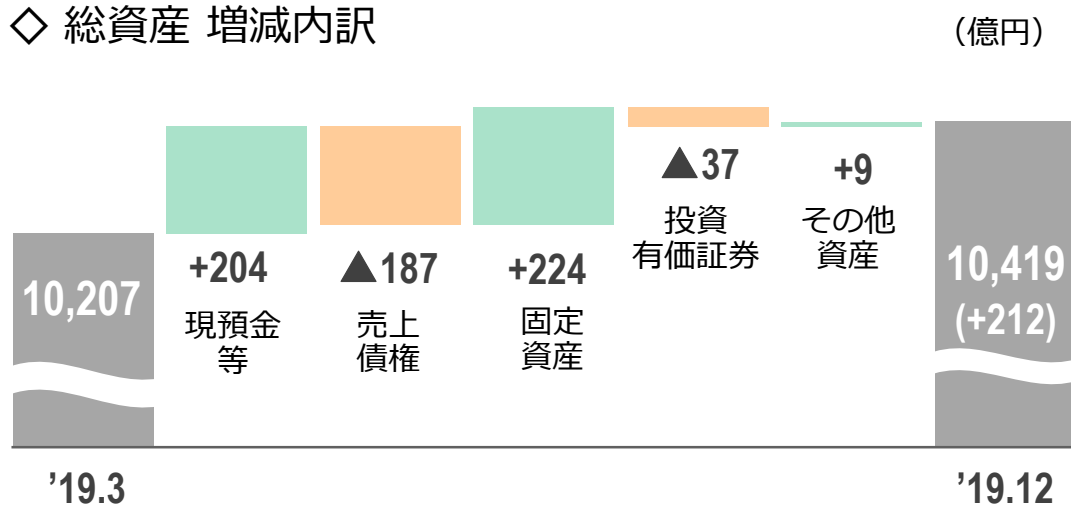
	(億円)			内 為替 換算影響
	19年 3月末	19年 12月末	差異	
総資産	10,207	10,419	+212	-62
負債	5,934	6,065	+131	-9
(内 有利子負債)	3,692	3,982	+290	+0
純資産	4,272	4,354	+82	-53
D/Eレシオ	0.90	0.95	+0.05	-

◆ キャッシュ・フローの状況 [前年同期対比]

	(億円)		
	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	差異
営業活動	592	644	+52
投資活動	-203	-484	-281
フリー・キャッシュ・フロー	389	160	-229
財務活動他	-96	43	+140
現金及び 現金同等物増減	293	203	-89

* キャッシュ・フローについては金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外

◇ 総資産 増減内訳



◇ BS換算レート

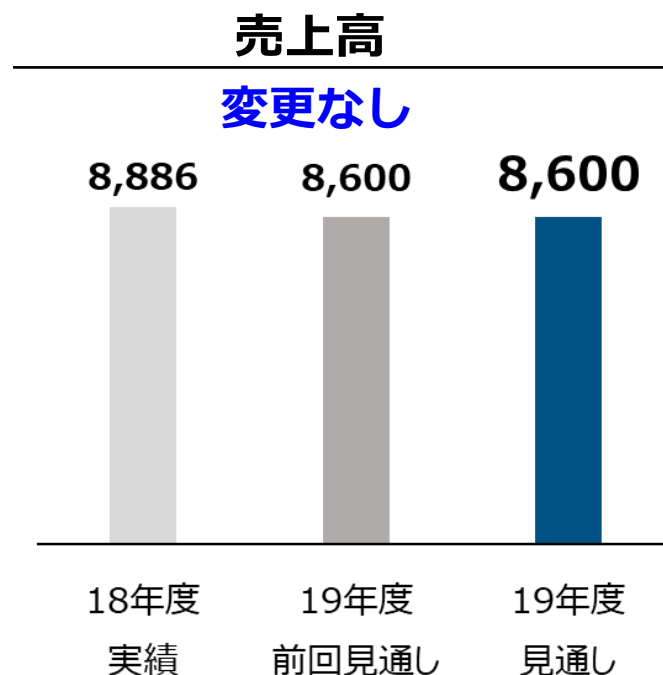
	19年 3月末	19年 12月末
円/米ドル	111	110
円/ユーロ	125	123

2. 2019年度業績見通し

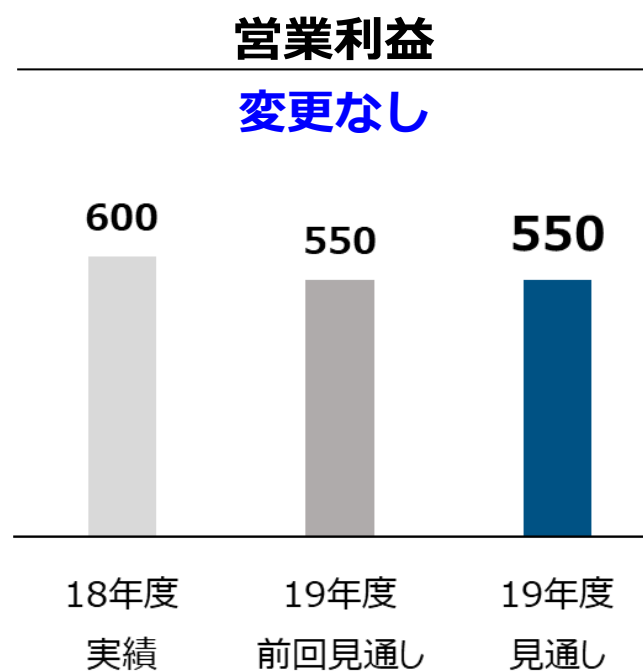
◆ 通期見通しハイライト [前回見通し*対比]

(単位：億円)

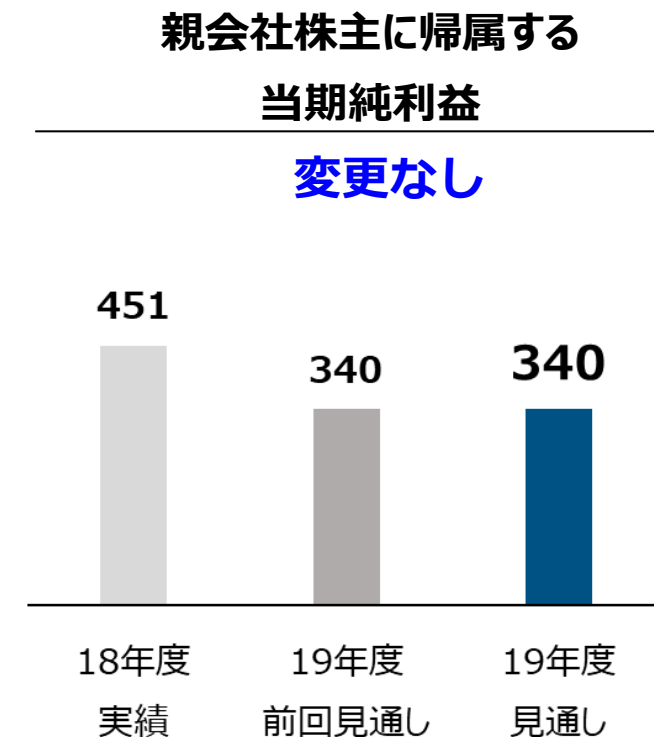
前回見通しから変更なし。ただし、セグメント別には変更あり



- マテリアル：下方修正
- ヘルスケア：上方修正



- マテリアル：下方修正
- ヘルスケア：上方修正



◇ 前提条件

		18年度 実績	19年度 前回見通し	19年度 見通し
通期平均為替レート	円/米ドル	111	108	109
	円/ユーロ	128	121	121
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)		69	62	63

配当金見通し：

据え置き (年間 60円/株)

中間実績 30円/株 期末 30円/株

* 前回見通しは2019年11月1日公表

◆ セグメント別 売上高・営業利益（四半期推移） [前期対比]

- マテリアル：収益状況が堅調なアラミド繊維を中心に、4Qは3Qの水準が継続する見通し
- ヘルスケア：国内製品・サービスは堅調に推移。費用の期末集中傾向を4Q見通しに反映

	18年度実績				19年度見通し				18年度実績	19年度見通し	差異
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q見通し	合計	合計	
売上高											
マテリアル事業	687	657	628	667	627	610	533	569	2,639	2,340	-299
繊維・製品事業	738	803	812	831	738	804	772	786	3,183	3,100	-83
複合成形材料事業ほか	219	217	227	231	234	244	252	220	894	950	+56
マテリアル 計	1,644	1,676	1,667	1,729	1,599	1,659	1,558	1,575	6,716	6,390	-326
ヘルスケア	392	412	397	374	398	391	403	358	1,575	1,550	-25
その他	128	142	139	187	149	164	153	193	595	660	+65
合計	2,164	2,230	2,202	2,289	2,146	2,214	2,114	2,125	8,886	8,600	-286
営業利益											
マテリアル	90	56	27	62	64	65	43	48	235	220	-15
ヘルスケア	99	119	94	42	105	89	97	29	355	320	-35
その他	6	19	13	33	13	25	17	24	72	80	+8
消去又は全社	-13	-15	-15	-18	-13	-11	-13	-33	-61	-70	-9
合計	183	179	119	119	170	168	145	68	600	550	-50

◆ セグメント別 売上高・営業利益 [前回見通し*対比]

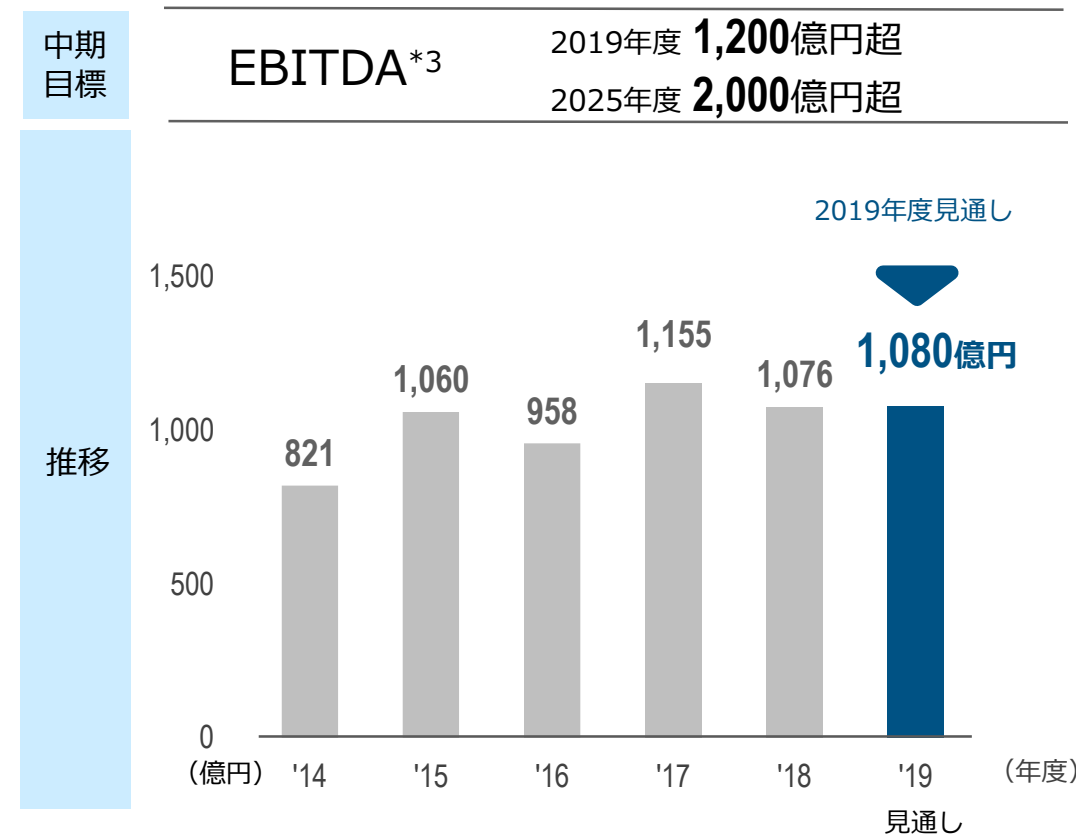
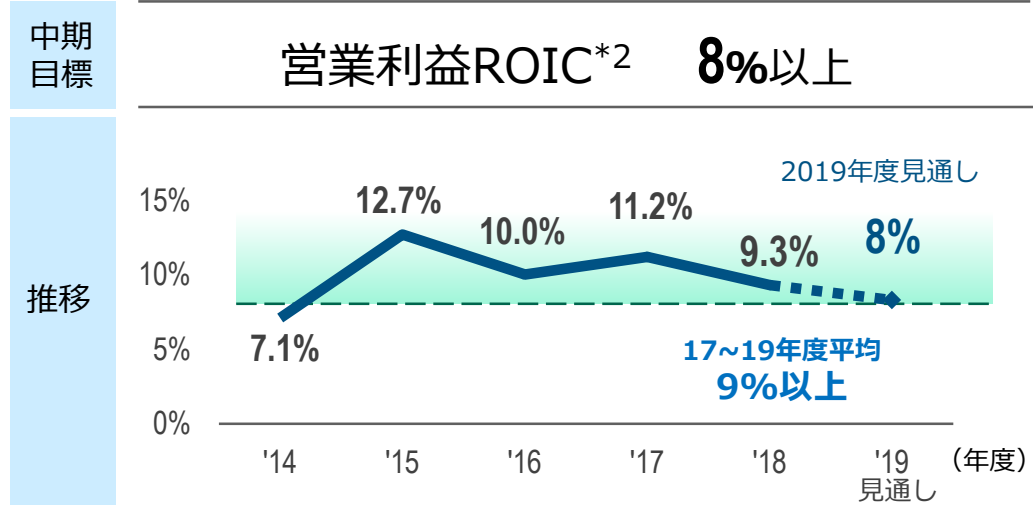
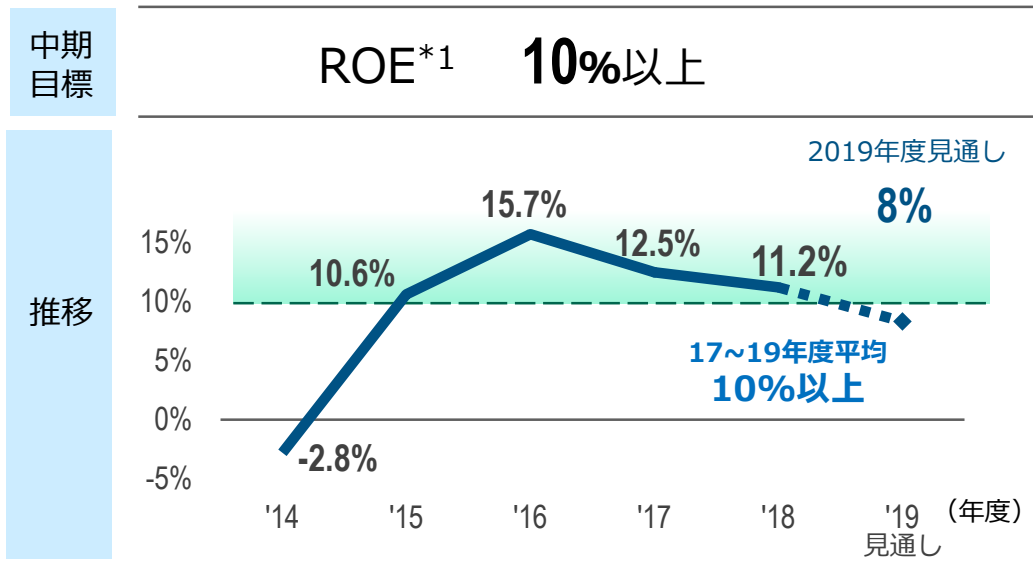
(億円)

	19年度前回見通し			19年度見通し			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高									
マテリアル事業	1,238	1,132	2,370	1,238	1,102	2,340	0	-30	-30
繊維・製品事業	1,542	1,578	3,120	1,542	1,558	3,100	0	-20	-20
複合成形材料事業ほか	478	472	950	478	472	950	0	0	0
マテリアル 計	3,258	3,182	6,440	3,258	3,132	6,390	0	-50	-50
ヘルスケア	789	711	1,500	789	761	1,550	0	+50	+50
その他	314	346	660	314	346	660	0	0	0
合計	4,360	4,240	8,600	4,360	4,240	8,600	0	0	0
営業利益									
マテリアル	129	106	235	129	91	220	0	-15	-15
ヘルスケア	194	116	310	194	126	320	0	+10	+10
その他	39	41	80	39	41	80	0	0	0
消去又は全社	-25	-50	-75	-25	-45	-70	0	+5	+5
合計	338	212	550	338	212	550	0	0	0

* 前回見通しは2019年11月1日公表

◆ 業績指標

- ・ ROEは2017-2018年度は中期目標を達成も、2019年度は未達見込み
- ・ 営業利益ROICは中期目標を達成見込み
- ・ EBITDAは2019年度の中期目標を未達見込み



*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本」にて算出
 2 「営業利益÷投下資本」にて算出
 *投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金
 *3 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

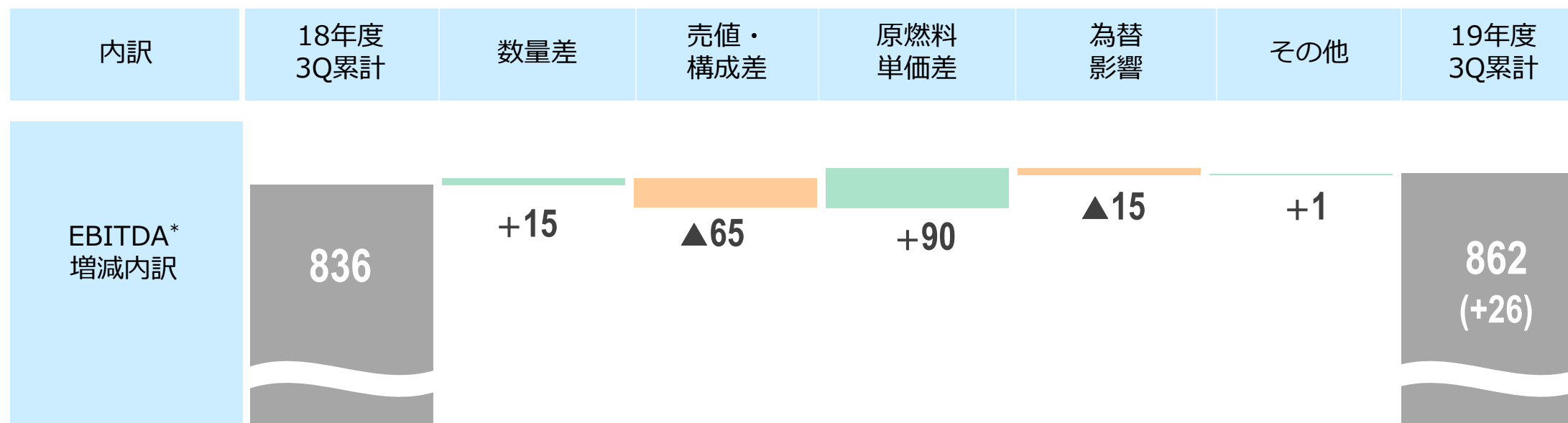
3. 参考資料

◆ EBITDA*増減（連結合計） [前年同期対比]

（億円）

	18年度 3Q累計	19年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	6,596	6,475	-122	-1.8%
営業利益	481	482	+1	+0.2%
EBITDA	836	862	+26	+3.1%
減価償却費	355	380	+25	+7.0%

（億円）



* 「営業利益+減価償却費（のれんを含む）」にて算出

◆ セグメント別 売上高・営業利益 四半期推移 [前年同期対比 (累計)]

(億円)

	18年度実績				19年度実績				差異	増減率
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計		
売上高										
マテリアル事業	687	657	628	1,972	627	610	533	1,771	-201	-10.2%
繊維・製品事業	738	803	812	2,352	738	804	772	2,314	-38	-1.6%
複合成形材料事業ほか	219	217	227	663	234	244	252	730	+67	+10.2%
マテリアル 計	1,644	1,676	1,667	4,987	1,599	1,659	1,558	4,815	-171	-3.4%
ヘルスケア	392	412	397	1,201	398	391	403	1,192	-9	-0.7%
その他	128	142	139	409	149	164	153	467	+58	+14.3%
合計	2,164	2,230	2,202	6,596	2,146	2,214	2,114	6,475	-122	-1.8%
営業利益										
マテリアル	90	56	27	173	64	65	43	172	-0	-0.1%
ヘルスケア	99	119	94	313	105	89	97	291	-22	-6.9%
その他	6	19	13	39	13	25	17	56	+17	+45.4%
消去又は全社	-13	-15	-15	-43	-13	-11	-13	-37	+5	-
合計	183	179	119	481	170	168	145	482	+1	+0.2%

◆ セグメント別 売上高・営業利益 四半期推移 [前年同四半期対比 及び 直前四半期対比]

	18年度				19年度			(億円)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	差異 19/3Q -18/3Q	差異 19/3Q -19/2Q
売上高									
マテリアル事業	687	657	628	667	627	610	533	-95	-77
繊維・製品事業	738	803	812	831	738	804	772	-40	-33
複合成形材料事業ほか	219	217	227	231	234	244	252	+25	+8
マテリアル 計	1,644	1,676	1,667	1,729	1,599	1,659	1,558	-109	-101
ヘルスケア	392	412	397	374	398	391	403	+6	+12
その他	128	142	139	187	149	164	153	+15	-11
合計	2,164	2,230	2,202	2,289	2,146	2,214	2,114	-88	-100
営業利益									
マテリアル	90	56	27	62	64	65	43	+16	-22
ヘルスケア	99	119	94	42	105	89	97	+3	+7
その他	6	19	13	33	13	25	17	+4	-8
消去又は全社	-13	-15	-15	-18	-13	-11	-13	+2	-1
合計	183	179	119	119	170	168	145	+26	-23

◆ 連結損益計算書 四半期推移

(億円)

	18年度				19年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	2,164	2,230	2,202	2,289	2,146	2,214	2,114
売上原価	1,477	1,556	1,564	1,610	1,470	1,534	1,461
売上総利益	687	674	638	679	677	680	653
販管費	505	494	519	560	507	512	509
営業利益	183	179	119	119	170	168	145
営業外損益	29	6	-4	-29	-1	-6	-1
(内 金融収支)	6	-6	1	-4	-1	-5	-4
(内 持分法投資損益)	3	11	2	-12	4	7	2
経常利益	212	186	115	90	169	162	144
特別損益	49	-13	-6	-29	-18	-23	6
税金等調整前四半期純利益	261	173	109	61	151	139	150
法人税等	64	24	37	11	40	37	47
非支配株主に帰属する 四半期純利益	2	5	4	7	3	5	5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	195	144	68	43	108	97	97

◆ 連結貸借対照表 四半期推移

(億円)

	17年度		18年度				19年度		
	12月末	3月末*	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
資産									
流動資産	4,755	4,779	5,205	5,465	5,227	5,239	5,116	5,255	5,280
固定資産	5,031	5,041	5,076	5,063	4,930	4,968	4,910	5,052	5,139
合計	9,786	9,820	10,281	10,528	10,157	10,207	10,026	10,307	10,419
負債・純資産									
負債	5,673	5,737	6,047	6,193	5,860	5,934	5,860	6,103	6,065
(内 有利子負債)	3,475	3,442	3,852	4,007	3,740	3,692	3,743	4,076	3,982
純資産	4,113	4,082	4,234	4,335	4,297	4,272	4,166	4,204	4,354
合計	9,786	9,820	10,281	10,528	10,157	10,207	10,026	10,307	10,419

* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を18年度から適用しており、2017年度末(2018年3月末)については当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載

◆ 通期見直し [前期対比 及び 前回見直し*1対比]

	18年度 実績	19年度 見直し	差異	増減率	19年度 前回見直しとの差異		
					19年度 前回見直し	前回見直し との差異	増減率
売上高	8,886	8,600	-286	-3.2%	8,600	0	0.0%
営業利益	600	550	-50	-8.3%	550	0	0.0%
経常利益	603	540	-63	-10.4%	540	0	0.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	451	340	-111	-24.5%	340	0	0.0%
ROE *2	11.2%	8%	-3%		8%	0%	
営業利益ROIC *3	9.3%	8%	-1%		8%	0%	
EBITDA *4	1,076	1,080	+4		1,080	0	
フリー・キャッシュ・フロー	396	150	-246		150	0	
設備投資 *4	628	700	+72		700	0	
減価償却費	476	530	+54		530	0	
研究開発費	364	380	+16		380	0	

*1 前回見直しは2019年11月1日公表

*2 「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本」にて算出

3 「営業利益÷投下資本」にて算出 * 純資産+有利子負債-現金及び預金

*4 「営業利益+減価償却費（のれんを含む）」にて算出

*5 設備投資には無形固定資産を含む

◆ セグメント別 売上高・営業利益 [前期対比]

(億円)

	18年度実績			19年度見通し			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高									
マテリアル事業	1,344	1,295	2,639	1,238	1,102	2,340	-106	-193	-299
繊維・製品事業	1,540	1,643	3,183	1,542	1,558	3,100	+2	-85	-83
複合成形材料事業ほか	436	458	894	478	472	950	+42	+14	+56
マテリアル 計	3,320	3,396	6,716	3,258	3,132	6,390	-62	-263	-326
ヘルスケア	804	771	1,575	789	761	1,550	-15	-10	-25
その他	270	325	595	314	346	660	+44	+21	+65
合計	4,394	4,492	8,886	4,360	4,240	8,600	-34	-252	-286
営業利益									
マテリアル	146	89	235	129	91	220	-17	+2	-15
ヘルスケア	219	136	355	194	126	320	-24	-10	-35
その他	26	46	72	39	41	80	+13	-5	+8
消去又は全社	-28	-33	-61	-25	-45	-70	+3	-12	-9
合計	362	238	600	338	212	550	-24	-26	-50

◆ セグメント別経営指標 [前期対比 及び 前回見通し*1対比]

				(億円)	
	18年度 実績	19年度 見通し	差異	19年度 前回見通し	前回見通し との差異
EBITDA*2					
マテリアル	564	600	+36	620	-20
ヘルスケア	473	450	-23	435	+15
その他	100	105	+5	110	-5
消去又は全社	-61	-75	-14	-85	+10
合計	1,076	1,080	+4	1,080	0
					(%)
営業利益ROIC*3					
マテリアル	5%	5%	-0%	5%	0%
ヘルスケア	35%	36%	+1%	34%	+2%
合計	9%	8%	-1%	8%	0%

*1 前回見通しは2019年11月1日公表

*2 「営業利益+減価償却費(のれんを含む)」にて算出

3 「営業利益÷投下資本」にて算出 *投下資本 = 純資産+有利子負債-現金及び預金

◆ 主要経営指標推移

	15年度 実績	16年度 実績	17年度 実績 ^{*6}	18年度 実績	19年度 見直し
ROE ^{*1}	10.6%	15.7%	12.5%	11.2%	8%
営業利益ROIC ^{*2}	12.7%	10.0%	11.2%	9.3%	8%
EBITDA ^{*3} (億円)	1,060	958	1,155	1,076	1,080
1株当たり当期純利益 (円) ^{*4}	158.1	254.9	231.3	232.4	177.2
1株当たり配当金 (円) ^{*4}	35	55	60	70 [*]	60
総資産 (億円)	8,234	9,641	9,820	10,207	10,500
有利子負債 (億円)	3,033	3,762	3,442	3,692	3,800
D/Eレシオ ^{*5}	1.01	1.11	0.88	0.90	0.9
自己資本比率	36.4%	35.1%	40.0%	40.2%	40%

*100周年記念配当 10円/株を含む

*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本」にて算出

2 「営業利益÷投下資本^{}」にて算出
*純資産+有利子負債-現金及び預金

*3 「営業利益+減価償却費（のれんを含む）」にて算出

*4 株式併合による株数の変化を反映したベースで記載

*5 「有利子負債÷自己資本」にて算出

*6 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を18年度から適用しており、17年度実績については当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載

◆ 主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	18年度					19年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q*	3Q
フェブリク®	高尿酸血症・痛風治療剤	87	87	102	82	358	99	100	105
ボナロン®*1	骨粗鬆症治療剤	26	25	27	22	100	25	24	24
ワンアルファ®	骨粗鬆症治療剤	5	4	4	4	17	4	4	4
ベニロン®	重症感染症治療剤	13	13	14	12	53	16	15	17
ムコソルバン®	去痰剤	10	10	12	9	41	9	8	10
ソマチュリン®*2	先端巨大症及び下垂体性巨人症、 瘵・神経内分泌腫瘍治療剤	8	9	10	10	37	11	12	12
ロコア®	経皮吸収型鎮痛消炎剤	5	5	6	4	20	6	5	6
ラキソベロン®	緩下剤	4	3	3	3	13	3	3	3
トライコア®	高脂血症治療剤	3	2	2	1	8	1	1	1
オルベスコ®	喘息治療剤	3	3	3	3	11	3	3	3

*1 ボナロン®/Bonalon® はMerck Sharp & Dohme Corp. (米)の登録商標です。

*2 ソマチュリン®/Somatuline® は Ipsen Pharma (仏) の登録商標です。

* 2Qの複数品目の数値の誤記
(±1-3億円)を遡って修正
しています。

◆ 疾患分野別臨床開発段階 (2019年12月末現在)

* 承認取得/新規上市は直近1年間を記載

	臨床開発段階			
	Phase II	Phase III	承認申請	承認取得/新規上市*
骨・関節 領域		ITM-058 NT 201L	NT 201	
呼吸器 領域	PTR-36			
代謝・循環器 領域	TCF-12 TMX-049 TMX-049DN TMX-67HK	ITM-014T		STM-279*1
その他	JTR-161	GGs-MPA*2		GGs-CIDP*3 GGs-ON*4

*1 2019年3月に「アデノシンデアミナーゼ欠損症」に対する製造販売承認を取得

*2 ベニロンの適応拡大として開発中

*3 ベニロンの適応拡大として、2019年8月に「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善」に対する適応追加の承認を取得

*4 ベニロンの適応拡大として、2019年12月に「視神経炎の急性期（ステロイド剤が効果不十分な場合）」に対する適応追加の承認を取得

◆ 新規開発医薬品 (2019年12月末現在)

【承認取得/上市*】

* 承認取得/上市は直近1年間を記載

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
STM-279 (エラペグアダマーゼ (遺伝子組換え))	ADA (アデノシン・デアミナーゼ) 欠損症	本剤 (ポリエチレングリコール修飾遺伝子組換えウシADA類縁体) は、ADA欠損症患者にADAを補充することで、リンパ球の減少を抑える注射剤であり、重症複合免疫不全症 (SCID) の発症を回避することが期待される。	注射	導入： 英リーディアント社 2019年3月承認取得
GGs-CIDP (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (多巣性運動ニューロパチーを含む)	本剤の免疫調節作用により、末梢神経の炎症を抑制し、低下した筋力を改善することが期待される。	注射	共同開発： KMバイオロジクス社 (効能・効果追加) 2019年8月承認取得
GGs-ON (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	視神経炎の急性期 (ステロイド剤が効果不十分な場合)	本剤の免疫調節作用により、視神経の炎症を抑制し、視機能を改善することが期待される。	注射	共同開発： KMバイオロジクス社 (効能・効果追加) 2019年12月承認取得

【承認申請】

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
NT 201 (インコボツリヌストキシンA)	上肢痙縮	A1型ボツリヌス毒素活性本体による筋弛緩作用により、上肢痙縮における骨格筋の緊張の緩和・改善が期待される。	注射	導入： 独メルツ社 2019年8月承認申請

◆ 新規開発医薬品 (2019年12月末現在)

【Phase III】

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
ITM-058 (アバロパラチド酢酸塩)	骨粗鬆症	強力な骨形成作用により短期間で骨密度増加と骨折抑制効果が期待できる骨粗鬆症治療薬。既存薬に比べ、強い骨密度増加作用と安全性（高カルシウム血症のリスク低減）が期待できる。	注射	導入： 仏イプセン社
NT 201L (インコボツリヌストキシンA)	下肢痙縮	A1型ボツリヌス毒素活性本体による筋弛緩作用により、下肢痙縮における骨格筋の緊張の緩和・改善が期待される。	注射	導入： 独メルツ社
ITM-014T (ランレオチド酢酸塩)	甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍	ソマトスタチン受容体を介したアポトーシスの誘導（直接的作用）や細胞栄養因子の分泌制御（間接的作用）を介した作用により、甲状腺機能の正常化が期待できる。	注射	導入： 仏イプセン社 (効能・効果追加)
GGs-MPA (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	顕微鏡的多発血管炎	本剤の抗炎症作用と免疫調節作用により、自己免疫性血管炎を鎮静化させ、標準治療で残存する神経障害（多発性単神経炎）を改善することが期待される。	注射	共同開発： KMバイオロジクス社（効能・効果追加）

◆ 新規開発医薬品 (2019年12月末現在)

【Phase II】

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
PTR-36	気管支喘息	新規作用機序 (CRTh2拮抗作用) によって喘息症状をコントロールする長期管理薬。 単剤による吸入ステロイドと同等の治療効果 (軽症患者) や吸入ステロイドとの併用による十分な治療効果 (軽症～重症の患者) が期待される。	錠剤	導入： 米GB001社
TCF-12	慢性腎臓病	繊維状吸着炭であり、尿毒素に対する高い吸着能力から、慢性腎臓病 (進行性) における尿毒症症状の改善及び末期腎不全 (ESRD) 発症の遅延、並びに用量低減による服薬アドヒアランスの向上が期待される。	カプセル剤	自社開発品
TMX-049	高尿酸血症・痛風	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規高尿酸血症治療薬として、有効性と安全性に優れることが期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-049DN	2型糖尿病における糖尿病性腎臓病	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規糖尿病性腎症治療薬として、腎症の進展抑制が期待される。	錠剤	自社開発品

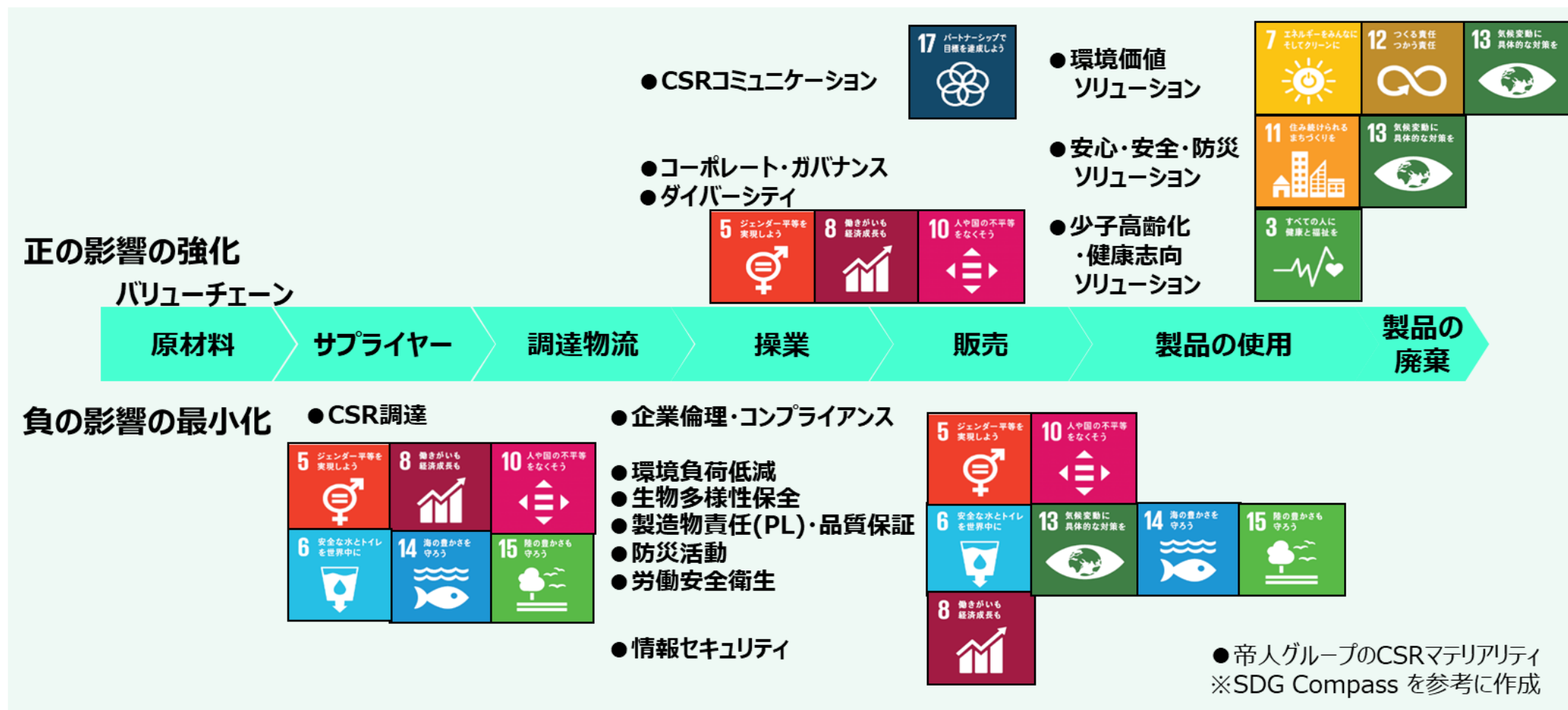
◆ 新規開発医薬品 (2019年12月末現在)

【Phase II】

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMX-67HK (フェブキソスタット)	小児の痛風・高尿酸血症	痛風・高尿酸血症の小児患者に対する、フェブリク®の適切な用法・用量を設定する。 本剤の強力な尿酸生成抑制効果により、小児患者の血清尿酸値を適正な値に改善・維持することが期待される。	錠剤	自社開発品 (効能・効果追加)
JTR-161	急性期脳梗塞	健康な日本人の抜歯体から単離した歯髄由来細胞を原材料とする他家ヒト細胞加工製品。骨髄などに比べて細胞採取時の侵襲性が低く、国内で細胞ソースが調達できることが特徴。 免疫調整因子産生による炎症抑制、栄養因子産生による臓器保護・再生促進などの効果が期待される。	注射	共同開発： JCRファーマ社

◆ 非財務情報 帝人グループのCSRマテリアリティとSDGs

帝人グループでは、CSRマテリアリティ（重要課題）の特定にあたり、SDGs が示す社会課題を参照し、グローバルレベルで積極的に取り組んでいます



◆ 非財務情報 ESG外部評価

GPIFの4つのESG指数全ての構成銘柄に採用

帝人は、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がESG投資の運用にあたって選定する「FTSE Blossom Japan Index」、「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」、「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」「S&P/JPXカーボンエフィシエント指数」の4つの指数全ての構成銘柄となっています。



ESG関係に優れている株式銘柄として3つのプログラムに選定 (経済産業省と東京証券取引所との共同主催)

「なでしこ」
女性活躍推進



「ホワイト500」
健康経営推進



「攻めのIT経営」
IT活用推進



TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions